



鴨島駅

◁立が降りる駅



稲荷通り

◁劇中でも重要な場面に登場



鴨島町鴨島字上島495番地1裏 鴨島稲荷通り

古民家工房 kotokoto

立が移住後、徳島で生活する自宅として登場▷
古民家工房 kotokotoでは、季節ごとのお手製パンが作れる教室を開催中(少人数制・要予約)。



山川町季邦160番地



水神の滝

◁立達にとって大切な場所として登場
川島町にある上桜公園の南東に広がる山裾の滝です。



川島町山田湯吸

川島潜水橋

立とお遍路中の神野がすれ違う橋として登場▷
地元の人々にとって欠かせない橋で、譲り合いを大切にしながら車やお遍路さんが行き交います。



旧富本家住宅 (長楽荘)

◁立の人生の再出発を行う場所として登場
藍で栄えた山川町諏訪の豪農富本家から富本市郎氏が分家し、昭和7年に擬洋風の主屋、同8年に裏座敷を建設。令和7年に日本遺産「藍のふるさと阿波〜日本中を染め上げた至高の青を訪ねて〜」を構成する文化財に追加認定。



山川町西久保1番地1



〈ストーリー〉

都会で小さな喫茶店を営む主人公・桂木立(りつ)は50歳。身寄りのない彼女は、余生を1人で生きていこうと決めていた。そんな折、再開発の影響でお店は立ち退きを余儀なくされ閉店に。さらに、健康上の問題も重なり、将来への不安を抱え、茫然とする立。そこに突然、吉野川市から相続に関する通知が届く。心機一転、訪れたことのない徳島の地へ移住を決めたが—

市制20周年事業
映画
『道草キッチン』
のロケ地となった
吉野川市
絶賛上映中!



詳細はこちら!



特設サイト
二次元コード

ロケ地紹介

鴨島駅前中央通り

◁2024年10月には、映画の劇中用に実際の阿波おどりの風景を撮影
撮影当日は、実行委員会や地域の方々の協力のもと、商店街を封鎖して170名以上のエキストラとともに撮影を実施。本番さながらの熱気が、映画の中で息づいています。

立が中央通りのベンチで休んでいるシーン▷



鳥新(中町通り)

◁立が立ち寄る老舗の焼鳥屋として登場



鴨島町鴨島454番地19



HOSTEL OE

◁立が宿泊するホテル



鴨島町鴨島字神島485番地4

